

ひめだ高宏ニユース

NO.1035

14.11.19

日本共産党 和歌山市公議員

12月2日公示14日投票で衆院選が

安倍首相の衆院解散表明で、12月2日公示、14日投票で衆議院選挙となりました。「アベノミクス」は大企業や大資産家に巨額のお金を保証する一方、貧困層は拡大、物価上昇と消費の冷え込みで景気は悪化しました。安倍首相はこの点に反省なく、半年後の消費税増税を明言。今回の選挙は、消費税増税・原発再稼働、集団的自衛権などが争点...

衆院選ノ区候補くにしげ秀人

日本共産党は今回の衆議院選挙の第1次比例候補に近畿の候補者、こくた、宮本、清水、堀内を含む9人の現職ノ人、新人ノ人を11月2日に発表しています。日本共産党和歌山県委員会は、11月18日、和歌山の選挙区候補3人を発表しました。

衆議院選挙の和歌山3選挙区候補の略歴は、次のとおりです。

◇1区 くにしげ秀明
1960年生まれ
水44歳。前回、前々回に引き続

く立候補。市権記者、県議団事務局長を経て党県常任委員。北部地区副委員長。

◇2区 富岡キヨ子
1949年生まれ
水65歳。橋本市議6期23年、延

長保育、国保引き下げなど多彩な活動。

◇3区 原やす子
1951年生まれ
水63歳。13年7月の参院選に続

フリーの人々 (818)

モクモク

大丈夫ですか？
大首相ケムリが
出ていますよ...

大丈夫だよ
ちよとケムリに
まいるよ...

ケムリだけで
なくどやば出て
大きくなっ
ますけど...

く立候補。自身のブログの一字も好評です。

こんにちは 日本共産党の かとう直人 とです。

(その43)

米軍基地撤去の闘い
沖繩知事選挙は「新基地建設反対」の翁長さんが圧勝した。沖繩県内すべての議会議決「基地NO」の建白書を安倍政権に突きつけたとよりの結果だ。建白書を取りまとめた翁長さんはこう述べた。「日本国土の0.6%の沖繩に74%の米軍基地を押し付けてきた。土地はすべて銃剣とブルドガーで奪われてきた。基地こそ経済発展の最大阻害要因だ」「ナラにNHKアナウンサーの質問」「辺野古を拒めば(普天間基地の固定化)つなが

るのではないか」に対しての答えは「否」だ。「普天間の移転先が本土には無くて沖繩にあるこの前提こそ大問題、日本政府の責任で解決せよ」戦後69年間、基地を狭んで沖繩県民が分断されてきた。今回の選挙結果は県民が一丸となって日本政府、アメリカ政府と向きあう表明だ。もう後戻りは出来ない。新たな歴史のページが開かれたのだ。本土に住む者にとって今度、は国民が一丸となって政府とアメリカにすべての基地撤去の闘いをスタートさせる番が来たといふことだ。



かとう直人
(県議予定候補)

消費税増税・原発・カジノ

各世論調査で反対が多数

消費税増税、原発再稼働、カジノ合法化について、14年10月にマスメディア各社が行った世論調査によると、いずれも反対が賛成を大きく上回っています。特に消費税増税には反対が7割前後に達しています。

15年10月に消費税増税を10%に引き上げることについて、共同通信の世論調査（10月18、19日に全国電話調査）では、反対が65.9%、賛成が31.0%。毎日新聞の世論調査（10月18、19日に全国電話調査）では、反対が73%、賛成が25%。読売新聞の世論調査（10月24、25日に全国電話調査）では、反対が71%、賛成が26%。朝日新聞の世論調査（10月25、26日に全国電話調査）

では、反対が71%、賛成が22%。

原発再稼働には、「共同」で反対が60.2%、賛成が31.9%。「朝日」で反対が55%、賛成が29%。カジノ合法化については、「共同」で反対が63.8%、賛成が30.3%。「毎日」で反対が62%、賛成が31%。「読売」で反対が63%、賛成が24%。「朝日」（10月4、5日に全国電話調査）で反対が59%、賛成が30%。

日本共産党

「アベノミクス」は破綻景気回復どころか2期連続の後退。17日発表された7~9月期の国内総生産は、予想を超えた景気悪化の深刻な後退を彫り出すものとなりまし

た。4月からの消費税増税が消費を冷え、暮らしと経済を悪化させているのは明らかです。金融緩和や財政出動など「アベノミクス」で経済を再往し消費税を連続増税するという戦略は完全に破綻しています。来月10月からの消費税の再増税を中止するのはもちろん、安倍政権の経済政策を根本から転換すべきです。

日本共産党は、消費税増税を中止することも、国民の所得を増やす政策に転換して賃上げと安定した雇用を実現すること、社会保障の切り捨てから充実への転換、財源は、景気回復と大企業・大資産家の応分な負担で賄うことを提言しています。

衆院近畿ブロック比例候補

こくた恵二 (現 67歳)
衆院7期・党国会対策委員長
前任幹事会会長

立命館大職員を経て京都府市議。93年、衆院7期。「21世紀の政治を国民の手」にモットーに国会対策委員長として奮闘中。

宮本たけし (現 54歳)
衆院2期・党スホーツ委員会責任者

和歌山市生まれ。父親の転勤で大阪・岸和田市育ち。民青同盟専従を経て、98年衆院大阪選挙区で当選。09年、12年衆院選挙当選。

清水ただし (新 46歳)
党進中央委員
大阪府副委員長
元大阪府市長

松竹芸能所属の漫才師から、阪神淡路大震災のボランティアを通じて入党。07大阪市議、10年衆院大阪選挙区に立候補

堀内照文 (新 42歳)
党進中央委員
兵庫県副委員長

95神戸大学文学部卒。阪神淡路大震災で救援活動に奔走。04参院比例候補、07参院兵庫選挙区候補、12衆院比例候補

延期する南ブロック年末の集い

南ブロック後援会ニュース「希望」にガー面でお知らせしている「笑い飛ばせ

う国民のための安倍自公内閣・南ブロック・年末の集いは、都合により延期します。